

豊橋市議会 だより

No. 307

2017年2月1日発行

平成28年12月定例会

主 な 内 容	12月定例会の概要 ……2~4
	審議結果 ……5
	代表質問・いっぱん質問 ……6~17
	委員会の活動 ……17
	一日市議会議長の様子 ……18
3月定例会の開催日程 ……18	



「わたしの未来」

表紙写真シリーズ「ユース・アングル」

撮影とコメント

山下莉果さん(藤ノ花女子高校写真部)

Q…どんな思いでシャッターを切りましたか？

A…豊橋市の公園で少女が無心でトンボを追いかける姿が、健気で可愛らしく、夢を追いかけているようで…ついカメラを向けました。

Q…このまちに期待することは？

A…海、山、川など自然に恵まれ、人が温かくて好きなまち。ただ、私の兄には障害があり、私もお手伝いするけど家族はととても大変です。どんな人も幸せに生きていけるまちになって欲しい。



TOYOHASHI CITY COUNCIL

佐原市長 所信表明の様子

今回の議会では、

こんなことが決まりました。

12月定例会は11月28日から12月16日までの19日間の会期で開かれました。
 11月28日の本会議では、再選した佐原光一市長の所信表明が行われました。12月5日には、4人の議員が会派を代表して質問し、6・7日で19人の議員が一般質問を行いました。
 次に、平成28年度一般会計補正予算など予算案6件、条例案12件、単行案5件の合計23件の市長提出議案と、市民から提出された請願1件および陳情12件について、委員会審査を行いました。
 最終日の16日には、審査を終了した議案をそれぞれ可決等し、委員会への付託を省略した議案2件を可決等した後、市長から2件の報告を受けました。次に、市長から2件の追加議案が提出され、それぞれ可決しました。
 最後に、議員提出の意見書4件をそれぞれ可決し、12月定例会に付議された事件の審議は、全て終了しました。

		12月	11月	会議日程					
16日	12日	9日	8日		7日	6日	5日	28日	
本会議(最終日)	一般会計予算 特別委員会	福祉教育委員会	環境経済委員会	総務委員会	建設消防委員会	本会議(第4日)	本会議(第3日)	本会議(第2日)	本会議(第1日)

※審議結果については、5ページをご覧ください。

主な議案の内容

市税・国保

○豊橋市市税条例及び豊橋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 特例適用利子等又は特例適用配当等を有する者に対し、当該特例適用利子等の額又は特例適用配当等の額に係る所得を分離課税するための特例を規定するとともに、特例適用利子等及び特例適用配当等に係る国民健康保険税の課税の特例を規定するものです。

個人情報

○豊橋市個人情報保護条例及び豊橋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例
 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、規定の整備を図るものです。

補正予算

- 平成28年度豊橋市一般会計補正予算(第5号)
- 平成28年度豊橋市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成28年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成28年度豊橋市地域下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成28年度豊橋市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 平成28年度豊橋市病院事業会計補正予算(第1号)

一般会計29億4,428万円、特別会計1億275万円、企業会計4億2,029万8千円の合計34億6,732万8千円の増額補正です。

主な内容として、豊橋サイエンスコアにおけるスタートアップオフィスやアグリフードラボなどの整備への助成を行い、事業者の交流、連携する中で新たなビジネス創出を図るとともに、総合動植物公園に照明設備などを整備し夜間営業を拡充することで、新たな観光客の誘客を図ります。

また、小中学校や住宅の改修、下水道の管渠の耐震化・施設整備などを実施するため、平成29年度以降に予定していた事業の一部を、平成28年度に前倒して計上します。さらに、福祉施設の防犯強化のための施設整備に対する助成などを新たに実施するほか、子育て支援策において、子どもの未来を応援する施策を行うための実態把握として、子ども調査を実施します。

また、篤志の方々からのご寄附について、それぞれのご意向に沿い、特別養護老人ホームにおける備品購入などに充てるほか、豊橋総合動植物公園整備基金へ積み立てます。

さらに、病院事業において、市民病院で発生した医療事故に対する賠償金のため、増額補正を行います。

特別職・職員給与、議員報酬等

- 豊橋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
職員の介護休暇を分割し、及び介護時間を新設するものです。
- 豊橋市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 豊橋市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 豊橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
- 豊橋市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 豊橋市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告を踏まえ、職員及び任期を定めて採用された職員の給与の適正化を図るものです。また、一般職員の給与改定に準じ、議長、副議長及び議員、市長、副市長及び常勤の監査委員、教育長の期末手当の適正化を図るものです。

- 豊橋市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例改正する条例

雇用保険法等の一部が改正されたのに伴い、高年齢被保険者とみなされる者に対する退職手当制度の拡充を行うほか、規定の整備を図るものです。

環境

○豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例

ビンカンボックスの廃止に伴い、規定の整備を図るため、並びに市又は市から委託を受けた者が非常災害により生じた廃棄物の処分を行う一般廃棄物処理施設の設置の特例に係る手続を規定するため、並びにバイオマス利活用センターにおける生ごみ、下水汚泥及びし尿・浄化槽汚泥の処理の開始に伴い、一般廃棄物の処理手数料の額を変更等するため、現行条例の一部を改正するものです。

市民病院

○損害賠償の額の決定について

豊橋市民病院において発生した医療事故について、損害賠償の額を4,189万7,570円と決定賠償するものです。

人権擁護

○人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、木村昌弘氏を推薦するものです。

財産

追加議案

○財産の取得について

豊橋総合スポーツ公園用地として、土地(神野新田町地内)を取得するものです。

補正予算

追加議案

○平成28年度豊橋市一般会計補正予算(第6号)

小中学校校舎等改修事業及び家政高等専修学校管理事業において、平成28年度内での完了が困難となることから、歳出予算を翌年度へと繰り越すものです。

手数料

○豊橋市手数料条例の一部を改正する条例

指定居宅サービス事業者指定申請手数料等を新設するものです。

農業

○豊橋市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるため、新たに条例を制定し、並びに関係条例について一部改正及び廃止をします。

防災

○豊橋市津波避難施設条例の一部を改正する条例

豊橋市天津地区津波防災センターを設置するため、現行条例の一部を改正するものです。

施設

○指定管理者の指定について

各施設の管理者を以下のとおり指定するものです。

豊橋市民センター

指定管理者：特定非営利活動法人ビリーブ

豊橋市屋内プール・アイスアリーナ

指定管理者：ハマダスポーツ企画・日本管財グループ

豊橋市交通児童館

指定管理者：豊橋市交通児童館共同事業体

こども未来館

指定管理者：ニコリン共同事業体

平成28年12月定例会 審議結果

○ 賛成 × 反対

件名	議決結果	会派名 ()内は所属議員数						
		自由民主党 (21)	公明党 (5)	まちなみフォーラム (4)	日本共産党 (3)	紘基会 (1)	豊橋だいきき会 (1)	無所属 (1)
<p>補正予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度豊橋市一般会計補正予算(第5号)(第6号) ・平成28年度豊橋市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ・平成28年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第2号) ・平成28年度豊橋市地域下水道事業特別会計補正予算(第1号) ・平成28年度豊橋市下水道事業会計補正予算(第1号) ・平成28年度豊橋市病院事業会計補正予算(第1号) 	可決	○	○	○	○	○	○	○
<p>条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市個人情報保護条例及び豊橋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市市税条例及び豊橋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ・豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市津波避難施設条例の一部を改正する条例 ・損害賠償の額の決定について(市民病院医療事故) ・指定管理者の指定について(市民センター、屋内プール・アイスアリーナ、交通児童館、こども未来館) ・財産の取得について(神野新田町地内 豊橋総合スポーツ公園用地) 	可決	○	○	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 	可決	○	○	○	○	×	○	○
<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市手数料条例の一部を改正する条例 ・豊橋市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例 	可決	○	○	○	×	○	○	○
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員候補者の推薦について 	異議はない	○	○	○	○	○	○	○
<p>議員提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書 ・ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書 ・安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書 ・骨髄移植ドナーに対する支援の充実を求める意見書 	可決	○	○	○	○	○	○	○
<p>請願</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業(学童保育)充実を求める請願 	趣旨採択							
<p>陳情</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために、市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情 ・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情 ・国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情 ・保育料軽減等に関する陳情 ・介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情 ・地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情 ・国に対して「保育士等の賃金と配置基準の改善を求める意見書」の提出を求める陳情 ・身体障害者に関する陳情 ・株式会社明輝クリーナー産業廃棄物焼却施設建設計画(能力5t/h)について許可を出さないことを求める陳情 ・高師緑地公園内多世代健康づくり施設開設に関する陳情 ・豊橋市子ども条例を市民協働で制定するための環境づくりに関する陳情 ・豊橋市民展における「すいとん提供」に伴う食品営業許可申請の必要性に関する陳情 		<p>当局において慎重に検討し、処置されるよう要望することに決定。</p>						

佐原市長3期目の

市政運営について

自由民主党豊橋市議員

杉浦正和議員



問 今回の市長選挙にあたり、第5次豊橋市総合計画にある「ともに生き、ともにつくる」に、「ともに考え」というキーワードが加えられたが、どのような手法で実現していくのか聞きたい。

答 市民の皆様にもちづくりの当事者として、市政にもっと関心を持っていただき、もっと能動的に関わっていただきたいという思いから、今回「ともに考え」をキーワードに掲げました。

その実現の手法については、地域の住民や産学官金労の各界の方々など、まちづくりに関わる主体、いわゆるステークホルダーの皆様が、一緒になって直接話し合う機会を通じて、今後のまちづくりについて積極的な情報を提供し、認識の共有を図る中で、課題の解決に向けて、それぞれが何をすべきか、何を担えるか、お互いに知恵を出し合いながら「ともにつくる」方向性を見いだし、それを一つ一つ実行に移していきたいと考えています。

テーマは必ずしも耳障りのよいものばかりではなく、公共施設の総量抑制など、本市の将来を見通す中で、市民の皆様にご負担をお願いしたり、あるいは痛みを伴うようなことにも正面から向き合わなければならぬと考えています。

「ともに考え」ということは、持続可能な未来(あす)の豊橋に向けて、多くの方々の思いや力を結集させて、必ずこれからのまちづくりの原動力になると考えていますので、このプロセスを大切にしていきたいと思えます。



その他の質問項目

・佐原市長の選挙戦のテーマ「未来(あす)を創る」について

佐原市長の

今後のまちづくりについて

公明党豊橋市議員

沢田都史子議員



問 総合教育会議の取り組みと成果について、および妊娠・出産・子育ての総合相談を受けて、さらに切れ目のない支援を進めていくため、今後どのような充実させていく考えなのか聞きたい。また、市役所改革における人材育成の取り組みについて聞きたい。

答 首長と教育委員会との協議・調整の場である総合教育会議は、昨年度5回、今年度2回の合計7回開催し、教育を取り巻く諸課題について、本音での意見交換ができており、有意義な時間となっています。これまでに教育大綱の策定、教育振興基本計画の改訂に取り組み、また、個別の教育政策については、学力・体力の向上、いじめ・不登校対策や教員の多忙化解消などに関する協議を行い、子どもを取り巻く喫緊の課題はもちろん、今後の教育のあるべき姿、施策の方向性を共有できたことも大きな成果であり、今後も課題と進

むべき方向性を教育委員会と共有し、一丸となって施策を展開していきたいと考えています。

切れ目のない支援の充実については、養育に問題のある家庭を支援する要保護児童対策の機能と、不登校やひきこもりの子ども・若者への相談・支援を行う機能を集約し、一体的に運営する新たな拠点を、来年度ことも未来館に隣接して整備したいと考えています。これにより、困難を抱える家庭を含む、子育て支援の包括的な総合拠点を整い、子育てにおける切れ目のない支援がより一層充実するものと考えています。

人材育成の取り組みについては、自らのチャレンジが求められる業務改善活動や、対等な関係で課題解決を図っていく市民との協働を通じたOJT研修を充実し、市民と寄り添える職員、チャレンジする職員、アイデアを実現していく職員の育成に努めていきます。

道路ネットワークの課題について

まちフォーラム

星野隆輝議員



問 日本の大動脈である東名高速道路には、現在国道151号からの接続のみである。しかし、東名高速道路へのアクセス強化は、地域産業の強化の点からも重要と考えるため、スマートインターチェンジを含めた高速道路アクセスの考え方について聞きたい。

答 東名高速道路へのアクセス強化として、石巻本町まで整備された東三河環状線を豊川インターチェンジまで延伸させることや、国道151号宮下交差点の立体化とともにスマートインターチェンジの設置も一つの方策と考えています。

全国の高速道路の中で、30万都市の名前の付いたインターチェンジがないのは豊橋だけかもしれないという危機感もあるため、真剣に考えていきたいと思いますが、そのためには、引き続きNEXCO中日本(中日本高速道路株式会社)をはじめ、隣接する新城市や地元の方々にと

もに、設置やその活用方策に向けた協議をしなければいけないと考えています。

また、この地域の道路ネットワークにおける重要課題はほかにも新東名高速道路、東名高速道路、名豊道路という3本の高規格道路を貫いて三遠南信自動車道とを結ぶ形となる浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現などが挙げられます。

この道路は、三遠南信地域が抱える喫緊の課題解消に欠かせない広域的な幹線道路ネットワークの形成を可能にする重要な南北軸になると考えます。今後早期実現に向けて経済界などととも、静岡県をはじめとする関係機関との連携を強め、東西軸、南北軸の広域的ネットワーク整備を進め、物流の効率化、地域産業の活性化を図っていきます。

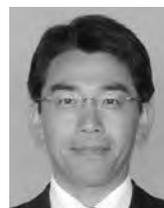
その他の質問項目

・佐原市政3期目の政策推進体制について

高齢者施策の方向性について

日本共産党豊橋市議団

斎藤 啓議員



問 所信表明に「健康」なまちづくりの推進「働き輝くシルバー世代への支援」とあるが、単身暮らし、病気や低年金、老老介護など、不安要素を抱える高齢者も多い。そこで、高齢者の抱える課題に対する認識、および不安を抱える高齢者への施策をどのように充実させていくのか、その方向性について聞きたい。

答 高齢化の進展に伴い、一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加、老老介護、社会的孤立、そして認知症の問題など、さまざまな課題が浮き彫りになってきていると認識しています。

これらは、よわいを重ねる前から生きがいを持ち、元気なうちから健康への高い意識を持つて介護予防に取り組むこと。また、仕事などを通して社会と関係を持ち続けることが重要です。よわいを重ねてもさまざま場面面で活躍できる高齢者が輝く社会、必要な高齢者には適切な支援が提供できる温かい地

域社会の実現に向け、施策を進めていきたいと考えています。

高齢者を取り巻くさまざまな課題を解決するには、介護保険制度や高齢者福祉サービスの円滑な実施と併せ、地域住民が身近な高齢者を見守り、お互いに支え合う地域をつくっていくことが大切です。また、まだまだ社会で活躍できる方たちが、誇りを残すことができる環境づくりも重要と考えています。

地域の支え合い活動については、今後も積極的に啓発活動を行うとともに、「ともに考え」、それぞれの取り組みを一元化し可視化する「お互いさまのまちづくりアクションプラン」を策定し、地域の支え合い体制の基盤づくりを進めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・市長選挙の結果について

指定通学路一斉点検の

取り組みについて

自由民主党豊橋市議員

小原昌子議員



問 本市においては2年に一度、市内全小中学校を対象に指定通学路一斉点検を実施しているが、今年度の点検の現況について聞きたい。また、課題解決に向け、学校・保護者・地域がともに情報共有できる仕組みを考へる必要があるが、一斉点検の結果を「見える化」するための具体的な取り組みについて聞きたい。

答 今年度の実施において、横断歩道の新設や再塗装、あるいは信号機の設置など、市内全小中学校より945件の要望が出されています。

要望に応じることが可能な箇所については順次対策を進める一方で、対策が困難な箇所について、とりわけ危険と思われる箇所については多面的な視点からの安全対策を講じるようにしています。

各学校の一斉点検の結果を「見える化」するための取り組みとしては、一斉点検の結果から、PTA協力の下、危険箇所

を交通安全マップに明示したり、校区自治会と連携して子ども見守り隊の配置をお願いしています。また、校区自治会やPTAと協力して通学路の変更という対策を講じた学校もあります。

一方、平成29年度からは、地理情報システムGISを運用することが可能となるため、学校が道路状況などの危険箇所を見取ることができるようになり、これを校区安全マップに反映させ、新たな情報を加えて更新したものを家庭や地域へ配布することで見える化を一層進め、交通安全の取り組みに役立てていくよう各学校に啓発していきたくと考えています。

その他の質問項目
・働き方の見直しについて

児童虐待防止の取り組みについて

公明党豊橋市議員

鈴木義則議員



問 児童福祉法等の改正により、要保護児童対策地域協議会の機能強化や児童相談所からの事案送致など業務範囲の拡大が予想されるとのことであるが、本市の対応の考え方と方向性について聞きたい。また、法改正では中核市にも児童相談所の設置を促す支援があるが、本市の認識と対応について聞きたい。

答 今回の法改正により、児童相談所に入った虐待相談の中でも、市町村が持つさまざまな社会資源を活用することで、より有効に対応できる事案や、一時保護および施設入所となった児童が家庭に戻る際の在宅支援などについては、市町村の役割として示されたところです。

こうした事案への対応については、要保護児童対策地域協議会の構成機関である福祉・保健・教育・医療などの各関係機関が持つ専門性を十分に生かしながら、関係機関との連携およ

び調整を一層強化することで対応していきたいと考えています。児童相談所設置の認識と対応については、今回の法改正の附則において、財源の問題や人材の育成など、国による中核市の児童相談所設置に対する支援について、5年後をめどに必要な措置を講ずると規定されたところです。

また、東三河広域連合においても、児童相談所の設置について研究を始めているところであり、国の動向等も注視しながら、検討を進めていきたいと考えています。

その他の質問項目
・新年度予算編成の基本的な考え方について
・財政のマネジメントの強化の取り組みについて

ミナクルにおける

取り組みについて

無所属

川原元則議員



問 大清水まなび交流館ミナクルの複合施設としての成果、課題認識および今後の展開について聞きたい。また、関係各課職員の協力体制の現況について聞きたい。

答 複合施設としての成果については、三つの機能が複合したことで市民の利便性が向上し、利用人員も想定人員を大きく上回っています。

課題としては、ミナクルで行う講座やイベント、行政情報などを提供・発信する場として、1階の「地域じょうほうひろば」を地域の方が利用していますが、これまで以上に来館者の交流の場として活用される仕掛けが必要だと認識しています。今後は、「地域じょうほうひろば」を活用したイベントの企画や空間的な仕掛けを工夫するなど、地域の自治会や学校、地元企業との連携を図りながら、施設職員および関係各課職員が協力体制をとって、複合施設としての特色を

生かした魅力ある運営に努めるとともに、来館者同士がこの施設で学び、集い、交流する中で、新たな活動が生まれる環境を整えたいと考えています。

ミナクル内での職員の連携については、施設の共有部分の管理運営はもとより、各行事に対しても協力しながら運用していきますが、大きなイベント開催や事業実施などで人員が必要な場合は、本課から職員が応援に行っている状況です。また、今年度から本課職員を定期的にミナクルへ派遣し、「土曜日の教育活動モデル事業」に取り組んでいるほか、現地で直接地域住民と接し、生涯学習・社会教育のスキルアップを図る中で、市民館業務を支援しています。

その他の質問項目

- ・本市における震災対応について
- ・超高齢社会における本市の高齢者フレイル対策について
- ・Bリーグ元年を迎えた総合体育館の利用状況と、これを踏まえた対応の方向性について

小中学校の「統廃合」について

日本共産党豊橋市議団

鈴木みさ子議員



問 現在、建物の老朽化、人口減少等を踏まえ、公共施設等総合管理計画の検討が進められている。建物系公共施設のうち、学校が約3分の1と高い割合を占めており、人口ビジョンでは2060年には児童生徒数はおよそ半減する見通しが示された。そこで、小中学校の「統廃合」に対する地域との合意形成について聞きたい。

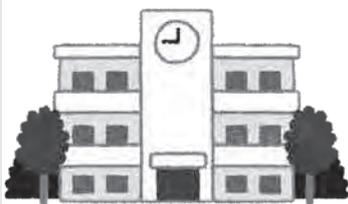
答 本市が平成25年3月に策定した「学校規模の適正化に関する基本方針」において、複式学級となることが見込まれる場合には、適正化に向けた対策として、学校の統合により対応すると定めています。

そして現在、人口減少化に対応した学校の在り方について、昨年度から2か年をかけ、有識者等で構成する教育課題検討会議において、まちづくりの視点を持って一歩踏み込んだ議論を重ねているところです。

学校は地域コミュニティの核と

しての役割を有するため、統合の実施を検討する上では、現在、学校へ通学している児童生徒の保護者の声を重視するのはもちろんのこと、地域住民の方々と教育上の課題や地域づくりを含めた将来ビジョンを共有することが大切であると考えています。

また、このことは、行政が一方的に進めるものではなく、どのようにして課題を解決していくのか、新しい学校に何を望むのかなど、保護者や地域住民の方々と一緒になって考えていくことが必要であると考えています。



その他の質問項目

- ・介護保険事業・総合事業について

ごみ分別変更への対応と

諸課題について

自由民主党豊橋市議員

近藤修司議員



問 ごみの減量や分別を、いかに市民負担や経費をかけずに進めていくかが重要であると考えますが、今回のごみ分別制度変更において、効率的なごみ収集のため、どのような課題を認識しているか聞きたい。また、ごみ収集業務の委託について、今後の方向性をどのように考えているか聞きたい。

答 平成29年度からバイオマス資源利活用施設稼働に伴う生ごみの分別収集や、びん・缶をステーション収集にすることから、収集車両や人員の増加とともに、収集日程の変更が必要となります。

こうした収集体系の変更に際し、効率的にごみ収集を行うための課題としては、適切な市民サービスを維持しつつ、円滑な収集業務を行うための体制を確保すること、また、それに要する経費を最小限に抑えて効率的な運用を図ることと認識しています。

そこで、ビンカンボックスを廃止してステーション収集に集約することにより経費の縮減を図るとともに、ごみの収集回数や収集日を全般的に見直す中で、平日の5日間をフルに活用して、収集車両、人員を効率よく稼働させることにより、無駄のない収集体制を構築したいと考えています。

また、ごみ収集業務の委託の今後の方向性については、現委託契約が平成29年度末をもって終了となることから、平成30年度からの新たな委託に当たっては、現在の業務委託の状況を踏まえ、今回のごみ分別制度に合わせた委託内容に変更するとともに、二層の経費の効率化を図る中で、委託範囲の拡大も視野に入れて検討しています。

その他の質問項目

・本市における南海トラフ地震防災対策について

中小企業の人材確保と

人材育成について

自由民主党豊橋市議員

二村真一議員



問 大企業が円安やオリンピック特需などで高業績を上げる中、中小企業は人件費の高騰や人材不足により事業運営に苦慮しており、地方創生にはまだまだ時間がかかるように感じている。特に人材不足は深刻で、中小企業における人材の確保・育成が急務と考えるが、中小企業における人材育成への支援と考え方について聞きたい。

答 本市では中小企業における生産情報および経営管理技術等の習得のため、豊橋サイエンスコアにおいて、中小企業技術者研修を行ったり、地元工業高校や高等技術専門学校において実践的な技術や知識を伝える地域技能者活用事業等を実施したりするなど中小企業が必要とする人材育成に努めています。

また、メイカーズラボにおいては、ハッカソンなどの参加型研修開発プロジェクトの実施による新事業創出に向けた研究開発プロジェクトへの参加を促すことで、

中小企業技術者に対する開発意欲の向上につなげていきたいと考えています。

中小企業における人事不足や資格取得に対する支援としては、平成27年度から大型運転免許等取得支援補助金を創設し、必要な資格者確保に向けた支援を行っています。あわせて、現在、中小企業における即戦力の確保や有資格者の育成への費用が大きな経営負担となっていることも理解し、今後それら資格取得に対する支援も中小企業が抱える経営問題の解決に有効な取り組みであると認識し、効果的な事業実施に向け検討していきたいと考えています。

その他の質問項目

・老朽建築物に対する安全管理等について

人口減少時代の

小学校の統廃合について

自由民主党豊橋市議団

中村竜彦議員



問 人口減少により学校の統廃合が論じられる時代となった。これまでの答弁では「複式学級になる場合の選択肢」ということだが、高度成長期に多く建てられた校舎の耐用年数も考慮すべきである。そこで児童数の減少と校舎の老朽化対策に合わせた統廃合に対する市の基本的な考え方と今後の対応について聞きたい。

統廃合を総合的、計画的に行うための「公共施設等総合管理計画」の策定も進めているところでは。

今後の対応としては、教育の質の低下を招くことのない環境作りを最優先に、平成32年度までは、複合化や将来統廃合が想定される小学校の再配置を踏まえた個別施設計画を策定したいと考えています。

答 人口減少に対応した学校の在り方については、現在、教育課題検討会議の場において教育的な観点を第一に、適正な学校規模、効率的な施設整備や学校が保有する地域コミュニティの核としての役割など、さまざまな角度からの視点を持って検討を行っているところです。また、将来人口や財政状況を考慮した施設の最適化から、全ての公共施設が統一的な方針の下、本市の特性やこれまでの取り組みを生かして、今後の維持管理、更新、長寿命化、複合化、減築、

その他の質問項目
人口減少時代における市営住宅の今後について

障がい児保育の施策について

日本共産党豊橋市議団

中西光江議員



問 豊橋市子ども子育て応援プランでは、障害がある児童等への支援の充実を掲げている。就労等によつて家庭で保育ができない中軽度の障がい児の保育が保育園で実施されているが、障がい児の受け入れ状況、および障がい児保育における、3歳未満児への受け入れ拡大の考えについて聞きたい。

答 本年度は、保育園30園と認定こども園2園の計32園を障害児保育の指定園にするともに、保育園9園と認定こども園3園の計12園を実施園として、234名の障害のあるお子さんを受け入れていきます。受け入れ児童は、昨年度より6名増えており、年々増加しています。

受け入れ拡大の考えについては、家族形態の変化や女性の就労が進む中、保育が必要なお子さんの低年齢化が進んでおり、0歳から2歳児の保育ニーズが高まっています。これに伴い、発達遅れ等が気になる0歳から

2歳のお子さんも見受けられますが、個々の発育や発達状況の差が大きい年齢でもあり、この年齢では障害の程度や病名等がはっきりしないことも多くあります。

障害の有無に関わりなく、0歳から2歳のお子さんを安全に保育するためには、多くの保育士が必要であり、1、2歳児の場合、国基準では子ども6人にに対して、1人以上の保育士を配置することになっていますが、本市では1歳児で4・6人に対して1人以上、2歳児では5・2人に対して1人以上とするなど手厚く配置しており、現状では、この加配保育士の配置の中で、気になるお子さんの受け入れについても、各園にお願いをしています。

その他の質問項目
斎場再整備に伴う諸課題について

地産地消に対する認識と対応について

自由民主党豊橋市議員

前田浩伸議員



問 消費者や生産者にメリットをもたらず地産地消が重要性を増してきたが、地産地消に対する認識を聞きたい。また、農業の盛んな本市だからこそ、更なる地産地消を推進する上で、条例や計画の制定が必要だと考えるが、本市の認識を聞きたい。

答 地産地消は、新たな国内市場の開拓、さらには農産物を活用した加工品等の開発、いわゆる6次産業化による地域産業の活性化にもつながらる効果的な取り組みと認識しています。そこで、地産地消の取り組みを継続的に実施し、地域の生産者と消費者との相互理解を深め、農業を地域産業の核として地域産業全体の活性化につなげていきたいと考えています。

本市では、地産地消の推進に当たって、庁内関係部局をはじめ、農協や企業との連携を図る中、さまざまな事業を進めており、今後は生産に携わる農家、

加工流通にかかわる企業、実際に地産地消を支援し、消費を行う市民一人一人が豊橋産農作物の質の高さなど、その優位性への理解を深め、地域が一体となってブランド化を推進し、付加価値を高めていくといった仕組みを作ることが必要であると考えています。

また、国も地域の農林水産物の利用の促進に関する基本方針において、地域の実情を踏まえた促進計画の策定を進めていることから、本市においては、豊橋産農産物の利用促進に向けた目標値を設定する等、実践的な内容を含めた地産地消の推進計画を策定することとし、さまざまな分野の方々からの意見や他都市の状況なども調査を行うことで、地産地消の取り組みを進めたいと考えています。

その他の質問項目

・本市の教育における諸施策について
・今後の社会情勢を見据えた消防力の強化について

豊橋駅西口駅前地区について

自由民主党豊橋市議員

古関充宏議員



問 豊橋駅西口駅前地区の通学・通勤者、観光客などの利用状況について、また、平成27年度基礎調査の内容と成果について聞きたい。

答 平成25年度豊橋駅西口地区利用実態調査における、平日の西口駅前広場の利用者へのアンケート調査では、利用者の80%が市内に在住していること、西口駅前まで、または西口駅前からの交通手段として、鉄道が約45%、次いで徒歩が約20%となっていること、西口駅前への訪問目的として、通勤・通学が約80%、次いで仕事、買い物と続き、旅行などは約2%でした。なお、西口を利用するインバウンド観光客などの実数は把握できていませんが、観光バス等の発着数は増加し、一定数の観光客が西口を利用しているものと思っています。

また、平成27年度基礎調査では、西口駅前広場を中心とした約5ヘクタールを調査範囲とし、土地・建物の利用状況の確認と

ともに、権利者等に、将来の資産活用の意向や今後の西口駅前地区に対する考えなどを聞き取りました。

成果として、旧耐震基準の住宅や店舗が多く、建て替え等の可能性が高いこと、土地利用の状況は、貸し駐車場等の低未利用地が多く、高度利用を図る必要があることなどが把握できました。さらに、権利者は将来の資産活用については、現状維持を望む声が多かった一方、再開発などで活用を検討していきたいとの意見がありました。

駅前広場における歩行者の安全確保や観光バス等の駐車スペースの確保等、交通環境に対する課題も把握でき、当該地区の活性化や再整備検討の有効な基礎資料を収集できたと考えています。

その他の質問項目

・今後の高齢化社会における本市の考えについて

まちなかと郊外活性化の

考え方について

自由民主党豊橋市議団

近藤喜典議員



問 郊外の商店街・発展会に対する今後の取り組みについて聞きたい。また、郊外活性化の考え方で、にぎわいの創出につながる複合施設の必要性について、その認識を聞きたい。

答 郊外の商店街・発展会に対しては、商業団体関係者と協議する中で、空き店舗活用に対する支援を充実させ、商業団体の組織力強化に取り組み必要があると考えています。

施設の複合化については、点在する異なる種類の公共施設の機能移転や利用目的を拡大することにより、利用向上が図られるものです。その結果として、多くの地域住民が集い、施設を利用し、活動することで、地域コミュニティの形成が一層進展し、地域の活性化につながると思います。また、維持管理コスト軽減の観点からも、複合施設の必要性は高いと認識しています。

特に、郊外の施設については

施設間の距離が遠く、移動距離が長いと、利便性が低い傾向にあるので、まちなかに比べて複合化の効果はより期待できるものと考えています。

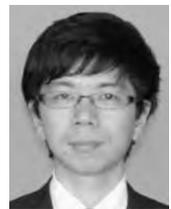
現在、公共施設については長期的な適正化計画を検討しており、統廃合や総量の削減が避けては通れない問題となっておりますが、いろいろな形で利用が活性化され、それぞれの地域におけるその施設の有り様、存在意義の向上などを図った上で進めていくことが必要であると認識しています。



公共施設の総量の抑制について

豊橋たいすき会

長坂尚登議員



問 豊橋市と同規模である倉敷市では『公共施設等総合管理計画』に「約42%の公共施設が維持できなくなる」と記している。

佐原市長は選挙前の10月に発表した公約で、「公共施設の総量の抑制」を記しているが、この「総量の抑制」の意味について聞きたい。

答 現在保有する全ての施設を維持、更新するには、現在と比べて2倍にも及ぶ財政負担が必要になってきます。

少子高齢化や人口減少が進むことにより、税収の減少や高齢化に伴う扶助費の増大などによって、本市の財政見通しは大変厳しい状況が想定されることから、現在保有する全ての施設を維持することは、極めて難しい状況であり、将来的に施設の総量削減は、避けては通れないものと認識しています。

その他の質問項目

- ・ 市長任期3期12年の条例化(多選禁止条例の策定)について
- ・ 公開討論会における、市の答弁についての「他都市に先んじて1歩目を踏み出す勇気が必要」という趣旨の市長の発言について
- ・ 「3つの約束を実現する行政運営」における「職員の市民対応能力や企画力など資質の向上」について
- ・ 「3つの約束を実現する行政運営」における「官民協働を進め」る「様々な人材交流」について
- ・ 豊橋市の職員が市外に在住することについて
- ・ 中心市街地における住宅供給策について
- ・ 公開討論会における「新しいものに取り組み」ということに対して非常に慎重な経営者、若者が多い」という趣旨の市長の発言について

行政と地域コミュニティの

連携について

自由民主党豊橋市議員

山田静雄議員



問 地域コミュニティ活動において、地域に合った今後の支援の仕方と地域コミュニティ・自治会業務の効率化に向けた考え、方向性について聞きたい。また、自治会への依頼事項をどのように見直そうと考えているのか聞きたい。

答 支援の考え方について、地域に合った支援を行うためには、地域の特長やニーズを的確に把握し、効果的な支援を行う必要があると考えています。そこで、それぞれの地域課題に関連する部署の担当者が、直接解決に向けたきめ細やかなサポートを行えるよう、職員研修などを通して、職員一人一人の地域に対する意識を高め、能力アップを図ることにより、的確な支援を行っていきたいと考えています。

地域コミュニティ・自治会業務の効率化に向けた考え、方向性について、市から自治会への依頼件数は、年々増加していて、地域

コミュニティへの負担軽減を図る必要があると考えています。地域コミュニティ活動に関わる人材のなり手不足など、地域の実情を考えますと、依頼事項の総点検を図ることにより、重複事項を整理するなど、見直しを実施していくことが必要であると認識しています。

市から自治会への依頼事項としては、主に委員の委嘱、広報およびし等の配布、回覧、各種会議への出席、意見等の取りまとめなどがあります。これら依頼事項における地域負担を軽減するには、関係各課と連携し、依頼の必要性や、目的、効果等を十分に検証した上で、地域の意見も伺いながら見直しを進めていくことが必要であると考えています。

その他の質問項目
・生きる力の基礎となる確かな学力向上について

高齢者社会参加支援事業について

萩基会

寺本泰之議員



問 電車・バス共用福祉回数乗車券(高齢者用)は、年度当初に交付予想枚数を券面額の8割、約5000万円で購入している。一方、バス運行事業者において、高齢者の利用しやすい時間帯の買物回数券が一般利用者に約3割引で販売されている。次年度からこの約3割引券の購入に改めるべきだと考えるが、本市の認識を聞きたい。

答 議員が言われる買物回数券は、当該事業者が運行管理するバス専用の回数券であり、平日の利用は、午前10時から午後4時であり、これは4時までにはバスを降りる必要があるという利用時間が制限された回数券です。

一方、本市が交付している電車・バス共用福祉回数乗車券(高齢者用)は、運行時間帯であれば利用時間に制限はなく、しかも市内線を含めた電車やコミュニティバスも利用できるため、高齢者の利用においては、非常

に利便性が高いと考えていますので、現在のものを継続していきたいと考えています。



その他の質問項目
・本市の住民監査請求における個別外部監査の対応について
・本市の入札制度改定について

地下駐輪場の

利用者増への施策について

公明党豊橋市議員

尾林伸治議員



問 狭間公園の無料自転車置き場が、再開発事業のため利用ができなくなるが、放置自転車対策として、稼働率に余裕のある地下駐輪場に誘導するための施策について聞きたい。また、地下駐輪場の老朽化への対応と大型自転車の駐輪ニーズに対する見解を聞きたい。

答 利用者を誘導する施策としては、鉄道利用者のニーズに合わせるため、終電への対応を図るほか、年末年始にも利用時間を短時間に制限せず、平日と同様に施設利用ができるよう、指定管理者と協議していききたいと考えています。また、階段やスロープの使用が困難な方などから、使いくらいという意見もあるため、地下駐輪場へのアプローチが支障とならない方式の検討も必要であり、料金体系等を含めた見直しや、施設の改善など、総合的な施策により利用増につなげていきたいと考えています。

老朽化への対応としては、躯体の健全化、漏水対策、トイレやラック等の設備改修が課題となっており、適時の修繕、改修、更新等の保全を実施することにより、施設の長寿命化を図らなければならぬと考えています。今後、躯体や設備を調査・分析の上、平成32年度までに、施設の長寿命化計画の策定を予定しています。

大型自転車の駐輪ニーズについては、チャイルドシート付き自転車、電動アシスト自転車など大型自転車が增加傾向にあり、自転車ラックに入れ難い状況にあります。このため、既存ラックを一部撤去し、平置きスペースを創設してきましたが、子育て世代をはじめ、高齢者の方にも利用しやすい駐輪場となるよう、引き続き大型自転車用の駐輪スペースの拡充に努めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・本市のキャリア教育について

観光立国の意義を踏まえた

教育について

自由民主党豊橋市議員

伊藤篤哉議員



問 観光の持続的発展のためには観光立国教育が不可欠であると考えますが、児童生徒たちの旅する心を育む教育、また、地域を愛する心、その地域を誇りに思う心を育み、将来の地域づくりの担い手を育成する教育について聞きたい。

答 子どもたちの豊かな情操を育み、見方や考え方を広げるために、日本の歴史や文化、自然や産業への理解を深めることが大切です。小中学校では、修学旅行の実施にあたり、体験や感動が得られるよう十分な事前学習を行い、生涯の思い出をつくる行事になるように努めています。子どもたちは、歴史的建造物や、自然の美しさ、あるいは政治・経済の重要地の雰囲気など大きな感動を味わい、あわせて公衆道徳や人との関わりを学んで帰ってきます。旅行を終え、心地よい疲労感とともに、豊橋に戻ってきたという安堵感に包まれますが、それは無意識に醸

成されている地域への愛着からくるものです。このふるさとへの思いを掘り起こし、地域のよさを意識させることが今後の課題であり、そのためには、郷土学習が必要となります。市内各小学校では、平成25年度より郷土学習を教育過程に位置付け、授業実践に取り組んでいます。この学習を進めることで、子どもたちと地域とのきずなが太くなり、郷土を愛する心の醸成につながり、郷土を誇りに思う子どもが育ち、やがては地域の担い手となるものと考えています。

そして、郷土の魅力を他の人に語る姿は、郷土を誇りに思う意識の表れだと考え、地域の魅力を発信する子どもたちの姿が、あらゆる場面で見られるよう支援をしています。

その他の質問項目

・佐原市長の目指す豊橋の教育について
・本市における国際理解を深める教育の推進について

・ユネスコスクール豊橋大会の開催について

のんほいパーク内の

サーキットについて

公明党豊橋市議員

宮澤佐知子議員



問 のんほいサーキットが開業して8か月が経過したが、現在までの利用状況、特に利用者数、年齢構成などを聞きたい。あわせてサーキットの導入が新たな客層の開拓につながっているのか、また現在の課題と今後の展開について聞きたい。

答 オープンした4月当初の月間利用者数は約300人でしたが、6月にそれまでの最高時速25キロメートルを40キロメートルに上げて以来、利用者数は増加傾向となり、10月には月間約千人となりました。利用者の年齢構成は、10代が25%、20代が25%、30代が20%、40代が16%、50代が11%などとなっており、比較的若い年齢層が主となっています。また新たな顧客開拓の効果ですが、10代、20代と、従来非常に少ない年齢層の利用者が増えたことで、新たな客層の開拓の面から効果を上げていると考えています。

供用開始後、利用しやすく楽しめるサーキット場構築のため、

毎月最終土曜日に1週の走行秒数を競うタイムトライアルイベントの開催や、グループレースパックを導入するなどの工夫をしています。平日昼間の利用者数が少ないことへの対応が課題となります。今後は、夜間営業や団体による時間単位の貸し切り営業、各種レースイベントの開催など、新たなサービスの導入を検討していく必要があると考えています。



のんほいサーキット

その他の質問項目

- ・東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて
- ・人と動物(犬・猫)が、ともに生きる社会に向けた取り組みについて

朝の連続テレビ小説

誘致活動について

自由民主党豊橋市議員

松崎正尚議員



問 「六甲おろし」栄冠は君に輝く「オリンピック・マーチ」豊橋市歌などを作曲した古関裕而氏。「古関氏の妻をNHK朝の連続テレビ小説のヒロインに」と、古関氏の故郷・福島市と協力し、「連続テレビ小説」の誘致活動を開始した。その経緯とシティプロモーション効果、および今後の取り組みについて聞きたい。

答 本市では、市制施行110周年を機に、「豊橋市歌」を市民に普及させたいと考え、手続きのため古関氏の親族を訪ねたところ、妻・金子さんが豊橋出身であることを、福島市が夫妻の人生を描くNHK「連続テレビ小説」の誘致活動を進めていることを知り、直ちに福島市に連絡を取りましたところ、本市と連携を取りたい旨の申し出を頂き、10月6日には福島市長と豊橋市長がNHK放送センターへ誘致の要望に出向きました。

「連続テレビ小説」は、視聴率の大変高い全国放送であり、誘

致が実現すれば、古関金子さんの幼少時代から結婚までの家庭生活など、大正から昭和の初めにかけての本市の様子が紹介されることになり、プロモーション効果は絶大であると考えています。

誘致を目指すドラマの放送時期は2020年の上半期で、2018年には題材が決定されるため、来年の取り組みが大変重要になると認識しています。

誘致活動を展開するには、早急に誘致推進組織の立ち上げが必要と考えています。福島市では署名活動を始めており、本市も今年度中に体制を整え、NHKへの要望活動も継続して行う予定です。

こうした取り組みを礎に、両市が新たな関係を構築するとともに、「豊橋市歌」の普及にも弾みがつくものと考えています。

スポーツを活用した

まちづくりについて

まちフォーラム

廣田 勉議員



問 スポーツツーリズムの推進や本市におけるプロスポーツクラブの存在等、今後スポーツは周辺産業へ波及効果を生み出す可能性があり、また隠れた観光資源を持つなど潜在力の高い分野であることから、地域経済の活性化につながるものも期待されるが、スポーツを活用したまちづくり戦略について聞きたい。

答 スポーツにはさまざまな、それぞれ大きな可能性があり、これからのまちづくりのキーワードになるものと考えています。国はオリンピックを控えて、競技スポーツの振興や観光客の誘致とともに、スポーツの成長産業化を官民戦略プロジェクトに位置付けて、スタジアムやアリーナを中核としたまちづくりの方向性を示しています。

今の厳しい財政状況の中で、第2アリーナの整備についても、これまでの公共施設とは違う、官民協働による新しい公益をつ

くり出すような、新たな整備・運営手法や枠組みも検討していかねばならないと考えています。

こうしたスポーツの持つ価値の多様性を広げていくためには、市役所においてもスポーツ課だけでなく、健康、観光、産業、シテイプロモーションなど、全庁的な体制で取り組んでいかねばなりません。また、行政だけでなく広域的な連携の中で、市民、企業、関係団体等、官民が協働してつくり上げていく必要があります。そうした概念の下に、市内の体制も強化する中で、市民の健康づくりや体力づくりとともに経済の活性化や観光の振興など幅広い分野で波及効果を上げるような、スポーツによるまちづくりを市民の皆様とともに進めたいと考えています。

その他の質問項目

・本市及び市役所における様々な雇用と働き方等について

委員会の活動

平成28年5月13日から平成29年2月1日現在までに開催された各常任委員会及び特別委員会のこれまでの主な閉会中の会議と今後の開催予定をお知らせします。

【総務委員会】

- 2月1日 ● 豊橋市地域強靱化計画の策定について
- 公共施設等総合管理計画の策定について

【環境経済委員会】

- 10月31日 ● 新しい農業委員会制度について
- 2月10日 ● ごみ分別制度変更に伴う実施状況について
- 工場立地法に係る緑地面積率等の緩和について

【福祉教育委員会】

- 6月27日 ● 豊橋市斎場再整備計画(案)
- 11月24日 ● 第2次豊橋市民病院改革プラン(改訂版案)について
- 豊橋市いじめ防止基本方針(案)について

【建設消防委員会】

- 11月21日 ● 豊橋市立地適正化計画(案)について
- 豊橋市の公共交通をともし支え育む条例の考え方について
- 1月12日 ● 豊橋市空家等対策計画(案)について

【地方創生等計画策定調査特別委員会】(平成28年9月7日調査終了)

- 7月8日 ● 第5次豊橋市総合計画「後期基本計画」及び「豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のスタート状況について

【地方創生推進調査特別委員会】(平成28年9月30日設置)

- 10月31日 ● 豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進について
- 1月30日 ● 豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプランの改訂について

東陽中三年生、 一日議長を務めました。

(平成28年11月11日「市民の日」)

一日市議会議長

東陽中学校三年
氏原小百合さん、田中友実子さん



① 決裁書類に押印

② 「のんほいサーキット」体験

平成28年8月20日に議場で開催されたクイズ大会「議会deクイズ」の優勝へアで、この度「一日議長」として推薦されました。

感想

(田中さん 写真③右)

今回、「一日議長」を務めさせていただいて、豊橋は改めて素敵なおところだと思いました。この豊橋を創っている市民の一人であることが誇りに思えました。

(氏原さん 写真③左)

一日議長を体験させていただきました。議長さん、副議長さんからお話を聞かせていただき、とても貴重な体験ができました。ありがとうございました。



③ 正副議長と

一日議長の、一日。

- ・一日市議会議長任命
- ・市議会議長室訪問
- ・決裁書類に押印
- ・総合動植物公園見学
「のんほいサーキット」体験
- ・自然史博物館見学

3月定例会の開催日程(予定) 会期:2月28日(火)~3月29日(水)

月日	時間	会議	場所
2月28日(火)	13時	本会議	議場 (西館8階)
3月 7日(火)	10時	〃 (代表質問など)	
8日(水)	〃	〃 (一般質問など)	
9日(木)	〃	〃 ()	
	散会后	予算特別委員会(正副委員長互選)	
10日(金)	10時	予算特別委員会(補正予算審査など)	第1委員会室 (西館7階)
13日(月)	10時 散会后	本会議(補正予算議決など) 予算特別委員会(新年度予算審査など)	議場 第1委員会室
14日(火)	10時	予算特別委員会(新年度予算審査など)	第1委員会室
16日(木)	〃	〃	
17日(金)	〃	〃	
21日(火)	〃	〃	
22日(水)	〃	〃	
23日(木)	〃	〃	
24日(金)	10時	常任委員会(請願審査がある場合)	第2委員会室 (西館7階)
29日(水)	13時	本会議(新年度予算議決など)	議場

※日程は変更になる場合もあります。

議会を動画で見よう。

マークの日に、インターネット、ケーブルテレビで、本会議の中継を行っています。また、過去のものはインターネットで録画配信しています。

議会を見よう。

豊橋市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、豊橋市役所7階の議会事務局窓口までお越しください。

議会に参加しよう。

豊橋市議会に対して、陳情等を提出することができます。お手続きに関しては、議会事務局議事課(電話51-2920)へお問い合わせください。

議会を読もう。

豊橋市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行します。是非、皆さんの生活にかかわる議会の活動を知る時間にしてください。

発行 豊橋市議会
編集 豊橋市議会だより編集委員会

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
TEL: 51-2920 FAX: 55-9020 [✉gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp](mailto:gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp)